



発行／小諸市公民館  
編集／館報編集委員会  
〒384-0801  
長野県小諸市甲1275-2  
☎0267-23-8880

No.830



【新町】  
花川の桜  
(花川親水公園)

❖内容	16	特集	2019年度(平成31年度) 学級・講座のご案内	20	『ぼくとわたしの作品』(坂の上小学校) 『教えて!あなたのサークル』(小諸ウォーキングクラブ)
	19	ご案内	4・5月公民館講座	21	ご案内 藤村文学講座 お知らせ 文化会館スケジュールなど

4月と言えば進学・進級そして新社会人にと、新しい生活に踏み出す人も多いですね。各地で平成最後の桜が咲き、春祭りの時季が訪れます。稲作農家にとっては、農作業が本格的になり忙しくなってきました。初まき、田植え準備等が始まり活動の時期になります。苗半作と言って良い苗を作らないと収穫まで影響します。

ところで、なぜ4月が年度の始まりになったか御存じでしょうか。一般的には、米作りに合わせて年度が決まったと言われていますが、昨年放送されたNHK『チコちゃんに叱られる』の番組によれば驚きの事実。年度が4月から始まるのは財務(大蔵)省のインチキだったそうです。最初、1873年(明治6年)当時は、1月から12月までの年度だったのですが、明治17年富国強兵で国の予算が大ピンチになり、大蔵省のトップである松方正義氏が、赤字で締め繰るのは困るので年度を4月から3月に改めたそうです。以後、日本の年度は変わって来ませんでした。

5月から元号も変わり、新しい時代が始まります。

編集委員 土屋 薫

